

第2学年国語科学習指導案

平成16年10月5日(火) 第1校時

2年3組(男子15名,女子13名,28名)

指導者 柳 沢 知 美

- 1 単元名 ようすを考えて読もう
教材名 「お手紙」 アーノルド＝ローベル作 三木 卓訳

2 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、読むことの学習では、「ふきのとう」や「スイミー」の学習を通して、文章や挿し絵から場面の様子を想像しながら読む活動をしてきた。「スイミー」ではスイミー日記を書くことを通してスイミーの気持ちを考え、手掛かりとなる言葉や文章から自分なりの感想をもって読んできた。文章を読みながら、言葉から場面の様子を想像したり、登場人物の気持ちを考えたりするようになってきた。

読書については、「スイミー」の学習を通して、レオ＝レオニの作品に触れたり、他の物語を読んだりするようになり、自分なりに想像を広げ、楽しんで音読するようになってきた。また、図書館を進んで利用し、楽しんで物語を読んでいる様子も見られるようになってきた。

(2) 単元のあらまし

本単元の指導事項は以下の通りである。

B 読むこと

ウ 場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと。

本単元の前の学習では、「読むこと」においては、「サンゴの海の生きものたち」の教材を通して「イ時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」、「工語や文としてのまとめりや内容、響きなどについて考えながら声を出してよむこと」を指導してきた。また、「ウ場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと」については、1学期に「スイミー」の教材を通して学習し、さらに3学期の「スーホの白い馬」の学習につながるものである。

本単元の学習では、かえるくんやがまくんの物語を読み、書かれている言葉から登場人物の様子や気持ちを考えながら読むことをねらっている。

本教材「お手紙」は手紙を一度ももらったことがないがまくん。その寂しい想いを知り、なんとかがまくんを喜ばせてあげようと内緒で手紙を出すかえるくん。二人の相手を思いやる素朴な友情を一層深めていく様子を二人の会話や行動から、児童は楽しみながら読み進めていくことができる。と考える。

(3) 指導にあたって

この学習では、場面の様子や登場人物の気持ちが分かる場所を探し、どのように音読するか考えることによりがまくんやかえるくんの気持ちの変化を考えていくようにしたいと考える。挿し絵からも場面の様子を想像したり、登場人物の表情から気持ちを考えたりするようにしたい。グループで音読練習をすることにより、学習で押さえた登場人物の気持ちを想像して、物語の世界に浸りながら場面にあった音読ができるようにしたい。

読み取ったことをもとに、がまくんやかえるくん、かたつむりくんの気持ちがあらわれるようにグループごとに紙人形劇をする活動を設定する。紙の人形を工夫して動かすことで登場人物の

気持ちを表現することができるように声掛けをしていきたい。

さらに、発表会のよかったことをお互いに手紙に書き、お互いのよさを認め合ったり、手紙を受け取る時のうれしい気持ちを味わったりするようにしていきたい。

	三つの手立て		具体的な取り組み
1	学習への意欲と見通しをもたせる導入の工夫	意欲を高める導入の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入では、教師が読み聞かせをすることで物語に対して興味をもつようにする。 読み終わった後に紙人形劇をすることを意識付ける。 学習に対して児童が見通しをもつために、学習計画を児童とともに立てる。
		既習事項の確認	<ul style="list-style-type: none"> 場面読みでは、本時の課題や活動を意識付けるために前時に使った挿し絵を提示したり、振り返りで書いた感想を紹介したりする。
2	学び合いを充実させるための工夫	学習形態の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 読み取ったことを交流したり、深めたりするためにペアや小グループでの活動を設定する。
		よりよい考えを練り上げていくための工夫	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを積極的に発表するために、自分の考えに理由をつけて考えたり、メモをしたりする一人学びの場を設定する。
3	振り返りの工夫	自己評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習について、学習態度がどうだったかやがまくんやかえるくんの気持ちや様子を考えたかを挙手や感想発表で自己評価するようにする。

3 単元の目標

がまくんやかえるくんの物語に興味をもち、進んで読もうとしている。

場面の様子を考えながら読み、紙人形をしてお話を楽しむことができる。

会話と地の文を区別することができる。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 教材に興味をもち、進んで読もうとしている。 登場人物の特徴をつかみ、友達と協力して楽しく紙人形劇をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> その時々の方面の様子や人物の気持ちを想像し、人物になりきって「」の中の言葉を読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会話と地の文を区別し、口型に注意して、はっきりした発音で読んでいる。

5 単元の指導計画（指導時数：14時間）

時	小単元	学 習 活 動	評 価 規 準
1 2	「お手紙」を読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を書いたりもらったりした経験を話し合う。 ・全文を読み，感想を書いたり発表したりする。 ・場面分けをする。 ・学習計画を教師と一緒に立てる。 ・だれの会話文か確認する。 	<p>(関)「お手紙」を進んで読もうとしている。</p> <p>(読)おもしろかったところ，感動したところを見つけている。</p>
3 4 5 (本時)	場面に分けて読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・一の場面のがまくんとかえるくんが悲しい気持ちになった理由や二人の様子考え，話し合っ て，音読する。 ・二の場面の大急ぎで手紙を書き，かたつむり くんに頼むかえるくんの気持ちや様子を考 え，話し合っ て，音読する。 ・三の場面の手紙の到着を待ちきれないかえる くんと元気がないがまくんの気持ちや様子を 考え，話し合っ て，音読する。 ・四・五の場面の手紙を書いたことを伝えるか えるくんとそれを聞いたがまくん，手紙が届 いたときの二人の気持ちや様子を考え，話し 合っ て，音読する。 ・「お手紙」を読んで，好きな場面を選んで音読 し，感想をまとめる。 	<p>(読)二人が悲しんでいる理由を 考え，悲しんでいる様子につ いて想像しながら読んでいる。</p> <p>(読)かえるくのがまくんに対 する思いについて想像しなが ら読んでいる。</p> <p>(読)手紙を待つかえるくんと元 気がないがまくんの様子を比 べ，想像しながら読んでいる。</p> <p>(読)二人が幸せな気持ちになっ た理由や様子や手紙が届いた ときの気持ちや様子について 想像しながら読んでいる。</p> <p>(読)感想がよく分かるようにま とめている。</p>
8 9 10	紙人形劇を しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに紙人形劇の仕方を話し合っ たり，練習したりする。 ・グループごとに発表したり，友達のよかつた ところを話したりする。 	<p>(関)紙人形劇の準備に楽しんで 参加しようとしている。</p>
11 12	友達に手紙 を書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に，その友達の紙人形劇でよかつたとこ ろを思い出して手紙を書く。 ・手紙をもらってうれしかったことを発表する。 	<p>(書)友達のよかつたところが分 かるように手紙を書いている。</p>
13 14	ほかの物語 を読んでみ よう	<ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんとがまくんが出てくるほかの物語 を読む。 ・読んだ物語のおもしろかったところを書いた り，紹介したりする。 	<p>(関)がまくんとかえるくんの出 てくる本をさがして楽しんで 読もうとしている。</p>

6 本時の指導

(1) ねらい

登場人物の気持ちを想像して，場面にあう音読ができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	教師の指導・支援	評 価 【手立ての評価】
つかむ 4分	1 前時に学習したことを想起する。(学習の意欲を持たせる導入の工夫) 2 本時の学習課題を確認する。	・児童が前時の学習を想起するように，かえるくんの挿し絵を提示する。	【かえるくんの挿し絵の提示は効果的だったか】
	がまくんとかえるくんの気持ちを考えて，音読の仕方を工夫しよう。		
見通す 1分	3 本時の学習内容を確認する。(導入の工夫) 音読 音読の仕方を考える 気持ちを考える 役になって音読練習	・読み取りのパターン ~ に沿って，学習することを確認する。 ・読み方の工夫をするために気持ち，速さ，声の大きさ，強弱に付いての書き込むことを確認する。	
深める 30分	4 3の場面を読む 3の場面を通読する。 場面の様子や登場人物の気持ちが分かるところに線を引き，どのように読むか書き込む。 (1人学び) 線を引いた文と考えた読み方を発表し，意見を交流する。 (学び合い) 役割を決めて音読する。 (学び合い)	・会話文を児童が読み，地の文は指導者が読むことを確認する。 ・場面の様子や気持ちは叙述から探し，その場所に線を引くことを確認する。 ・なぜその読み方をするのか理由を聞き，気持ちを考える場を設定する。 ・本時の学習で押さえた登場人物の気持ちを想像しながら，4人グループで音読練習することを確認する。	・場面の様子，登場人物の気持ちを表す叙述を探すことができたか。(書き込みの様子) 【4人グループでの活動は効果的だったか】
まとめる 5分	5 学習課題についてまとめる 自分たちのグループがどのようなことに気を付けて音読するか，話してから，グループで発表をする。 発表を聞いた感想を出し合う。	・グループで気持ちを表すために工夫した点を発表するので，聞く児童はその点に気をつけて聞き，感想を発表することを，指示する。	
ふりかえる 5分	6 本時の学習を振り返る (振り返りの工夫) 登場人物の気持ちになって音読することができたか，音読に表現することができたか等，友達の良いところ，自分の変化などについて振り返り，発表する。	・本時の学習がどうだったか，について，振り返りの観点を示し，発表することを確認する。	【感想発表による自己評価は効果的だったか】

(3) 具体の評価規準

観点	A	B	Bに至らせるための手立て
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> がまくんとかえるくんの気持ちが表れる読み方を考えて書き込みをし、表現豊かに音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> がまくんとかえるくんの気持ちが表れる読み方を考えて書き込みをし、音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちが表れる読みを考えさせる。読み方の例を示し、気持ちが表れる読みを選択させる。

7 板書計画

お手紙

かだい

がまくんとかえるくんのきもちをかんがえて、音読のしかたをくふうしよう。

「いやだよ。」

「あきあきしたよ。」

「そんなこと、あるものかい。」

「は、は、は、言ひなよ。」

「きょうだって同じだろうよ。」

「がまくん。」

「もうちょっとまってみたらいいと思ひなよ。」

「がまくん。」

「ひょっとして、くれるかもしれないだろう。」

「でもね、がまくん。」

「きょうは、くれるかもしれないよ。」

かえるくんの絵

がまくんの絵